

### 2019年春季市場動向 – 米国の自動車保険に関する市場動向

- 増加するクレームコストにより保険料率が上昇の一途を辿っている。2016年から2018年まで間、対人賠償関連のクレーム支払額は6.7%、人身傷害関連のクレーム支払額は4.8%上昇。
- 近年、睡眠時無呼吸症候群や睡眠不足を起因とする事故が急増しており、従業員（運転者）の疲労と睡眠の適切な管理を怠る雇用主への責任が強く問われている。職場において43%の労働者が睡眠不足に陥っているという調査結果も出ており、大きなリスク要因として注視されている。
- 高額賠償に対応する為、アンブレラ保険やエクセス保険を、複数段階に渡り構成する保険プログラムへのニーズが高まっている。
- **【2019年春季の市場予想】 米国全体+6.0%~+12.0%**
- 出典: *Marketplace Realities 2019 Spring Update, Issued by Willis Towers Watson*

### 2019年春季市場動向 – 米国のサイバー保険に関する市場動向

- サイバー保険（プライマリー証券/エクセス証券）は、平均すると一桁台の上昇で推移。
  - 適用される免責額は、業種や企業規模により様々に変化。社内におけるセキュリティレベル向上と内部コントロールを徹底して実施している企業ほど、保険会社から好感され、保険料率の低下に繋がっている。
  - 市場規模は増加の一途を辿っており、2020年までには100億ドル規模の保険市場となる見込。
  - 2017-2018年に発生したサイバー事故（事件）では、人為的ミスに起因したものが全体の61%を占め、最大のリスク要因となっている。
  - 近年のケースとして、M&Aに関連した事故が顕著となっている。このことから、M&Aプロセスの早期段階におけるIT部門の関与が重要視されている。
  - **【2019年春季の市場予想】 米国全体-3.0%~+5.0%**
- 出典: *Marketplace Realities 2019 Spring Update, Issued by Willis Towers Watson*

### 2019年春季市場動向 – 米国の雇用慣行賠償責任保険に関する市場動向

- 連邦裁判所から、給与データ報告に関するガイドラインの修正が行われた。当該ガイドラインによると、従業員100名以上を有する企業は、連邦雇用機会均等委員会(Equal Employment Opportunity Commission, EEOC)に対して、性別、人種、民族毎の給与額を報告するよう求めている。当該報告期限は2019年5月31日となっている。
  - 上記給与データを企業側が分析することで、給与体系の見直し・変更が実施される可能性がある。同時に、雇用慣行賠償訴訟が起る可能性が高まる。
  - また、上記データを活用することで、連邦雇用機会均等委員会(EEOC)自身が、給与上の差別を行っている企業に対して訴訟を起す可能性もある。
  - **【2019年春季の市場予想】 米国全体 0.0%~+5.0% / カリフォルニア州 +5.0%~ +10.0%**
- 出典: *Marketplace Realities 2019 Spring Update, Issued by Willis Towers Watson*

### 2019年春季市場動向 – その他の損害保険種目

- その他の保険種目の市場動向をお知りになりたい方は、弊社へご連絡下さい。